

2025 年度後期 西南コミュニティーカレッジ

国際文化学部提供



1) 「働く」とは何かを考える

講座内容

私たち人間にとって、「働く」ということは何でしょうか。権利であり義務でもあり、喜びも苦悩ももたらす、働くということ。時に「氷河期」や「売り手市場」などの言葉で表現される、社会における就職事情。本講座では、文学・歴史学・神学・文化人類学などを専門とする研究者たちが、様々な時代・地域の労働観や仕事の在り方について語ります。これらを通じて、あなたや社会にとって「働く」とは何かを、共に考えましょう。

講座情報

講師	開催期間	受講対象者 定員	受講料	応募期限
西村 将洋 ^{ほか} 国際文化学部 教授	11月20日～12月11日 毎週木曜日 18:30-20:00	一般 50名	一般4,000円 (全4回分)	11月6日(木) 必着

講座責任者：西南学院大学 国際文化学部長 西村 将洋

必要な教材

特になし。講座内で使用する教材は講師がご用意いたします。

講座形式 対面形式

会場：西南コミュニティーセンター（西南学院大学内）※都合により、予告なく会場を変更する場合があります。

コースのスケジュール

	開催日	内容・講義テーマ	
	11月20日(木)	オリエンテーション（初回講座開始5分前より）	社会連携課
1	11月20日(木)	就活の文化－日本と西アフリカの比較から考える	国際文化学部 准教授 伊東 未来
2	11月27日(木)	文豪の仕事論－夏目漱石にとって「働く」とは何か	国際文化学部 教授 西村 将洋
3	12月4日(木)	日本人移民と労働－アメリカへ渡ったからゆきさんの経験	国際文化学部 准教授 大原関 一浩
4	12月11日(木)	新しい「アレオパゴス」で愛を告げる －教皇レオ13世に始まるカトリック教会の社会教説について	国際文化学部 教授 西脇 純

各回講師につきましては、西南学院大学国際文化学部 HP をご覧ください

 西南学院大学

